

地域学校協働活動とは

地域学校協働活動とは、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い層の地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」をめざして、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

具体的には、学校支援活動、放課後子ども教室、土曜日の教育活動、家庭教育支援活動、学びによるまちづくり、地域社会における地域活動等、幅広い層の地域住民等の参画によって行われる活動が考えられますが、それぞれの地域や学校の実情、特色に応じて創意工夫していくことが大切です。

地域学校協働活動

できる人が
できることを
できるときに



廿日市市地域学校協働会議



廿日市市の全ての地域学校協働本部の地域コーディネーターや代表等が一同に会し、研修や意見交換等を実施します。会議では、先進事例の情報発信・収集を行ったり、地域学校協働活動に係る各本部の取組や市民センター・企業・大学等の活動内容や人材等の情報の共有を行ったりします。

子どもたちにとって

- 自己肯定感が高まる
- 地域への愛着がわく
- 専門的な指導を受ける
- 学力が向上する
- コミュニケーション能力の向上
- 将来の自分の生き方の発見

これまでの支援活動!

●学校支援

活動することで子どもたちや地域の人と顔見知りになり、まちの中で挨拶する機会が増えました。

さらに協働活動では!

美術館

専門家に解説をうけながら作品を鑑賞したり、創作体験をします。

まちづくり

子どもたちの素敵なアイデアが、まちづくりに生かされます。

地域活動

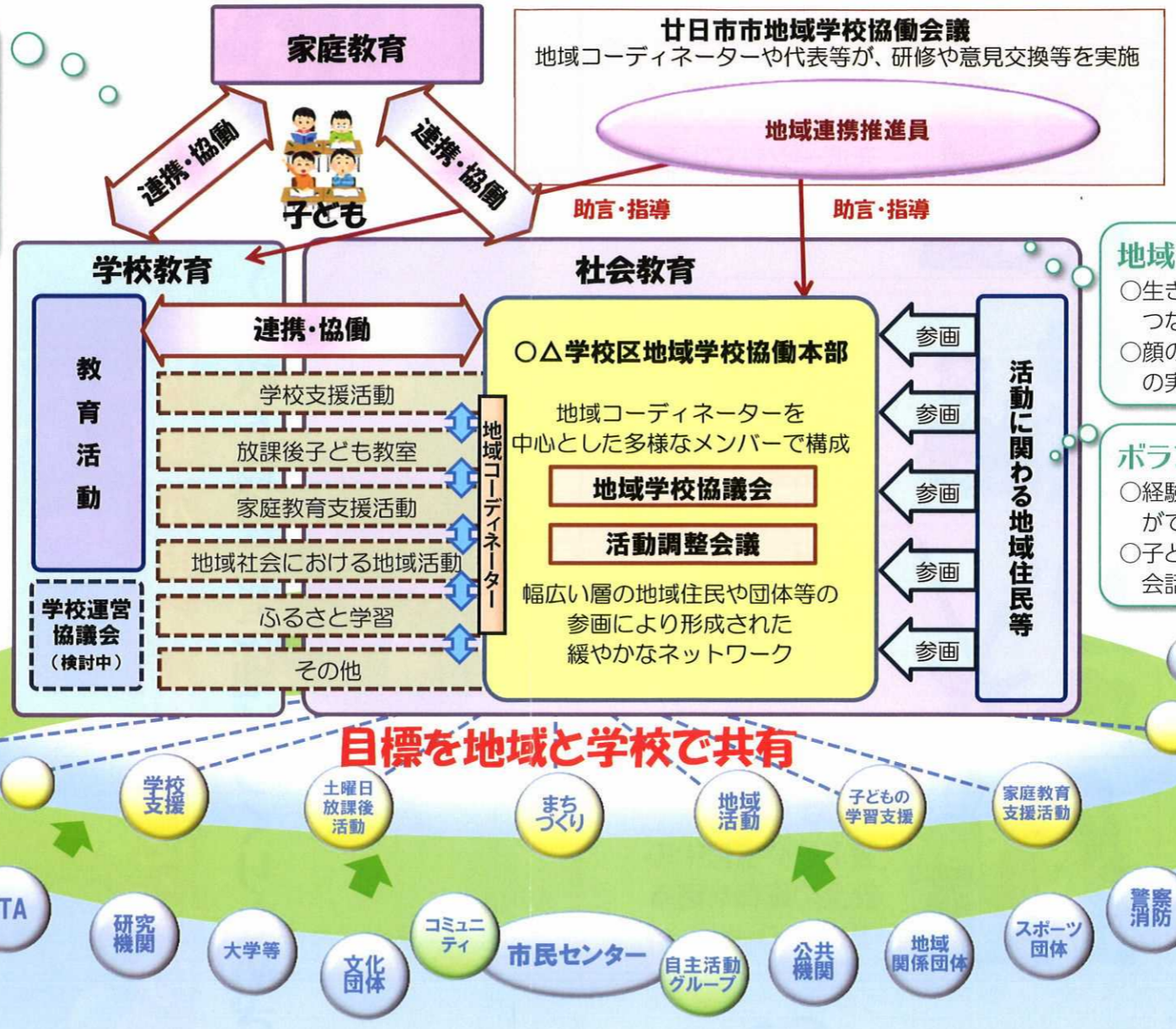
地域の伝統文化を子どもたちが継承します。

市民センター

市民センターを拠点に活動する自主活動グループが知識と経験を活かして子どもたちをサポートします。

企業・スポーツ団体

子どもたちの興味・関心・意欲が、将来の優秀な社員や選手を育てます。



地域にとって

- 生きがいや自己実現につながり地域が活性化
- 顔の見える関係づくりの実現

子どもたちからの感謝!

●感謝の気持ち

子どもたちが、感謝の気持ちをこめて、手紙を書いたり、感謝の会を行ったりします。



ボランティアにとって

- 経験や知識を活かすことができる
- 子どもたちとの挨拶や会話が增える